

平成18年11月13日

各 位

会社名 株式会社 文 溪 堂
代表者名 代表取締役社長 水 谷 邦 照
(コード番号 9471 名証第2部)
問合せ先 取締役管理本部長
舟 戸 益 男
(TEL. 058-398-1111)

関係会社株式評価損および中間業績の修正に関するお知らせ

当社は、平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の中間決算(単体)において、関係会社株式評価損を計上することとなりました。また、これに伴い、本年5月23日に公表しました平成19年3月期の中間業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I 関係会社株式評価損について

当社の連結子会社である(株)学宝社は、経営体質改善のための種々の経営施策を実施し、順調に債務超過を減少させてきました。しかし、取得原価まで回復するには、まだ、かなりの期間を要するとの判断から、平成19年3月期において、関係会社株式評価損333百万円を計上することといたしました。

(A) 関係会社株式評価損		333 百万円	
(B) 平成18年3月期の純資産額	(A/B×100)	10,523 百万円	(3.2%)
(C) 最近5事業年度の経常利益の平均額	(A/C×100)	514 百万円	(64.9%)
(D) 最近5事業年度の当期純利益の平均額	(A/D×100)	171 百万円	(194.2%)

II 業績予想の修正

1. 平成19年3月期中間業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(1) 単体業績予想の修正 (単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	5,780	950	570
今回修正予想(B)	5,712	856	163
増減額(B-A)	△ 67	△ 93	△ 406
増減率(%)	△ 1.2	△ 9.8	△ 71.2
前期(平成18年3月期中間)実績	5,769	1,115	517

(2) 連結業績予想の修正 (単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	6,580	1,060	630
今回修正予想(B)	6,537	992	580
増減額(B-A)	△ 42	△ 67	△ 49
増減率(%)	△ 0.7	△ 6.3	△ 7.9
前期(平成18年3月期中間)実績	6,571	1,234	585

2. 中間業績予想修正の理由

(1) 平成 19 年 3 月期中間業績

① 単体業績予想の修正理由

経常利益につきましては、学校現場のニーズの多様化に対応するため、出版物の部分改訂や新刊等による編集費用負担の増加のため、売上原価が上昇し、経常利益が前回発表予想を下回りました。また、上記のとおり関係会社株式評価損 333 百万円を特別損失に計上するため、中間純利益は上記の修正予想値となる見通しであります。

② 連結業績予想の修正理由

経常利益につきましては、上記①の要因と同様であります。

なお、関係会社株式評価損は、連結処理上は消去されるため特別損失への計上はありません。

3. 通期業績予想および期末配当予想について

平成 19 年 3 月期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)の通期業績予想および期末配当予想につきましては、現在見直し作業を行っており、11 月 21 日に予定しております中間決算発表時にお知らせいたします。

(注) 以上の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上